

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2010.4.15 No. 72 連絡先 FAX 042-555-1911



福生市議会の基地対策特別委員会が横田基地を視察



3月23日、福生市議会の横田基地対策特別委員会は横田基地を視察しました。写真撮影は、バスの中からだけ、という条件で許可されたそうです。

写真は奥富喜一市議（共産党）の提供です。

上の写真が航空自衛隊航空総隊司令部庁舎（福生市）です。地上3階、地下2階で、建築面積4,000㎡、延面積27,000㎡で地下の方がずっと広い。

後ろにも建設中の建物があります。

下の写真の横に広がっている1階建ての建物は託児所（羽村市）です。約2,500㎡もあります。

自衛隊の横田移転には、上記の施設のほか、高級幹部外来宿舎、宿泊施設、下士官教育施設、保冷倉庫、自衛隊宿舎などに、巨額の予算を投入しています。2010年度までの4年間で、544億円にのぼります。

沖縄・辺野古の民家上空をヘリコプター訓練！

4月7日午後、沖縄県名護市辺野古周辺の上空で、米海兵隊のCH46ヘリコプターが兵士5人をロープでつり下げたまま、住宅地や学校の上空を何度も旋回する訓練を約1時間行いました。目撃した住民からは「異様だ。事故が起きたらどうする」など怒りの声が上がりました。

国立高専の職員は、「学校のグラウンドを横切るように何回も旋回した。生徒たちも不安な表情で見つめていた。近くには高圧線もあり、とんでもない訓練だ」と語りました。（右2枚の写真は名護・大西照雄氏提供）



…地位協定違反… 市街地でアフガン作戦向け軍事訓練！

日米地位協定は、米軍の訓練などを「提供施設内」としており、基地外での軍事訓練を認めていません。沖縄では、海兵隊や陸軍は完全武装した部隊を公道で行軍させ（右写真）、基地間の移動だと強弁して言い逃れてきました。4月9日付「赤旗」紙は、米軍がアフガン作戦用に開発した対地雷装甲車（MATV）による市街地での走行訓練を実施していることを明らかにしました。



沖縄の具志堅徹（ぐしけんとおる）へり基地反対協幹事が横田基地を見学



いま全国各地で、沖縄と連帯する集会が開かれています。4月8日は、所沢市民センターで「基地はいらない！」沖縄と連帯する集会 in 所沢が開かれ、沖縄県名護市のへり基地反対協幹事・名護市議会議員の具志堅徹氏が報告を行いました。当日は、作家の澤地久枝さんの講演があり、738人の参加があったそうです。具志堅さんは翌日の9日も、いろいろ日程があったそうですが、「横田基地を見たい」と所沢平和委員会の方に相談され、午後、横田基地を訪れ、基地を一周しました。

米軍基地撤去に自衛官から差し入れ！（練馬平和委員会からのメール）（No. 72 裏面）

4月9日、陸上自衛隊第一師団（練馬区北町）正門前で米軍再編の危険性を平和大会練馬実行委員会が普天間基地撤去のビラを配布した。仕事を終えた隊員たちが次々にビラを手にした。

中には迷彩服でお辞儀しながら受け取る隊員もいる、2ヶ月に一度の定例宣伝である。

日本平和委員会発行の「世界一危険な基地」普天間基地をテーマにした一部50円のリーフレットも売れ、差し入れまであった。

4月11日は練馬駐屯地創立59周年記念行事が実施されるが、昨年より大砲の空包発射やヘリコプターを使用しての展示訓練は中止になった。

20数年間の粘り強い住民と練馬区役所・議員の連携した運動は一步步市街地（練馬区の人口70万）の中の練馬駐屯地を変化させている。

伊達判決の前にも安保条約は違憲であるとの「鑑定書」があった

1959年、砂川事件では「駐留米軍は憲法9条違反」とした素晴らしい伊達判決があったことをNo. 71で書きました。この判決の数年前、板付基地でも裁判闘争がありました。

1954年、福岡県板付米空軍基地拡張のための土地強制使用認定処分に対して、土地所有者3名が訴訟を起こしました。土地所有者3名は内閣総理大臣を被告とし、安保条約、行政協定と、強制使用認定が、憲法9条に違反すると主張して、東京地裁でたたかいました。

約3年後の1957年11月、政府は、判決を待たず、自ら使用認定処分を取り消し、住民側が勝利しました。この裁判では、安保条約は違憲であるとの「鑑定書」が憲法学者の鈴木安蔵氏（映画「日本の青空」の主人公）によって提出されました。のちの砂川などの裁判闘争で有力な理論上の武器となりました。ズッシリと心に響きます。一部を紹介します。

「長期にわたって、しかも全国土に外国軍隊を駐留せしめるといふごとき場合、日本国憲法が軍隊その他の戦力について定めていることを根拠として推論判断することは当然でなければならぬ。」「日本国の国権によって米軍の秘密保持にあたり、米軍の基地のために土地使用ないし収容をなし、それらに要する費用を日本国の予算において分担している。米軍は日本国の国家作用によって存在を可能とされている。このような米軍は日本国憲法の規制を免れることはできない。そうでなければ日本国の最高法規たりえないであろう。」

米軍はなぜ板付基地を放棄したか

右の歌を知っていますか。これは現在、福岡空港、当時は米軍板付基地のたたかいを歌にしたものです。

板付基地は嘉手納、横田、三沢基地と同じように核攻撃基地体制に組み込まれました。しかし、10万人の基地包囲やF105配備反対などのたたかいで、米軍基地を取り返したのです。

最近、『米軍はなぜ板付基地を放棄したか』の板付基地撤去顛末記を入手し、すごいたたかひがあったことを知りました。

いま、普天間基地問題が重大な局面を迎えています。無条件撤去を実現させるために沖縄県民と連帯しましょう。安保条約廃棄、軍事基地のない平和な日本をつくる世論を広げましょう！

♪この勝利ひびけとどろけ♪

作詞・作曲 荒木栄

1 筑紫野の緑の道を

すすみゆく10万の戦列
赤旗は春風にはためき
うたごえは空にこだます
基地板付の包囲めざし
すすみゆく われらの戦列

2 ジェット機に足うばわれた

松葉杖の老婆は叫ぶ
「みなさんがんばって
きっと仇をうってください！」
百万坪の包囲めざし
すすみゆく われらの戦列

3 とびたてぬ百のジェット機

姿かくす戦争の手先
板付は包囲された
アメリカは包囲された
南ベトナムへ南朝鮮へ
この勝利ひびけ とどろけ